

平成 26 年 度

# 旭丘中 学校便り

第 9 号

練馬区立旭丘中学校：発行 1月

旭丘中学校の教育活動に関するアンケート調査について（報告）

校長 山谷 安雄

平成27年も順調にスタートしました。昨年の12月には、インフルエンザの集団感染で5学級で学級閉鎖を行いました。冬休み明けの健康観察では、流行の兆しはなく、2年生のスキー移動教室と3年生の高等学校の入学試験等に影響はないように感じられました。

さて、本校では、平成17年度より、生徒の学校生活をよりよいものにするため、保護者の皆様より本校の教育活動についてご意見をうかがうアンケート調査を実施しております。

今年度は、アンケート項目を見直し、生徒・保護者・教員に同じ質問を設定し、それぞれの立場の旭丘中に対する思いを集約することができました。この結果は、生徒・保護者・地域の皆様にお知らせするだけでなく、教職員全員で共有し、今後の学校運営に役立てていきたいと考えています。

## 1 生徒・保護者・教員の三者によるアンケートの分析

- 三者とも肯定的な評価が80%を超える項目が多く、教育活動が円滑に進行していると思われます。
- あいさつ、優しさ、学習などについて、生徒はどの学年も肯定的ですが、1年生の強い肯定が低くなっています。
- 学習については保護者の強い肯定はあまり高くありませんが、全体的には肯定的に評価されています。生徒の理解力や教員の授業力の向上に向けて、さらに工夫や努力を重ねていきます。
- 生徒は、学年が進行するに従って、学習に対する意欲や理解が高くなっています。中学校での学習に適応してきていると思われます。
- 読書活動が少ないことは、三者ともが認識しています。朝読書は浸透していますが、それ以外の時間には読むか読まないかの二極化と思われる。図書室の活用を含めて活字離れを防ぐ方策を考えるには、家庭との協力が欠かせません。
- 施設・設備について、老朽化を踏まえて、生徒は現状で満足していますが、教員は他中学と比べる機会も多く、本校の老朽化を実感しています。古くても丁寧に扱い、大切に使用していくことが大事だと考えます。
- 小中一貫教育について、1・2年生は乗り入れ授業や連携の活動を経験してきていますので、取り組みについては理解しています。3年生や保護者にも、様々な手段で情報を発信し、取り組みへの理解が進んでいると思われます。

## 2 保護者アンケートへの回答

- ・復習教室の様なものややる気をもてる指導をお願いしたい。

⇒やる気を引き出す指導が学校の中で最も難しい教育の一つです。学校では、すべての教育活動を通してやる気を引き出す指導をしています。特に、行事を通しての指導に重点を置いています。

- ・ホームページの更新

⇒昨年も同じご指摘がありました。なかなか、解決できないでいます。組織で対応できるように引き続き考えていきたいと思えます。

- ・施設の老朽化とトイレの洋式化をお願いしたい。

⇒施設の老朽化は旭丘中学校だけの問題ではなく、練馬区全体の問題となっています。豊玉第二中学校と開進第四中学校が校舎改築に取り組んでいます。今後、練馬区小中学校99校の半数近くの学校が、十数年の内に改修等に直面します。本校だけの問題でなく、区全体の問題と認識しています。

- ・部活動の充実と生徒数の増加

⇒本校の区内での立地条件（区の東の外れで、学区にいる在籍の児童生徒がもともと少ない）を考えると簡単に生徒数は増えていかないのが現実です。現在登校している生徒が満足のいく教育活動が続けていくことを考えています。部活動についても、生徒数が少ない中で、大変良くやっていると評価しています。

- ・定期テストのミスが減らしてもらいたい。

⇒定期考査Ⅲから、具体的に教員同士で事前にテスト内容の確認をすることにしました。ミスは、確実に減ってきています。

- ・数年前に比べて挨拶が少なくなった。

⇒生徒会中心に、朝の挨拶運動を行っています。子どもたちの自発な活動に期待していきたいと思えます。

- ・読書についての学校の取り組み

⇒朝読書をすることで、子どもたちが本に親しむきっかけになっています。図書室でも本の希望調査をしたりして、活字離れを少しでもなくしていきたいと考えています。

・テストの内容についてテスト範囲になかったり、問題量が多かったり、評価評定について疑問である。

⇒新学期の当初に、評価評定説明会を開いて、評価評定について説明しています。より多くの保護者の参加をお願いいたします。現在の学習の中心は、課題解決学習です。未知の内容について考えさせて解決する道筋を評価することもあります。

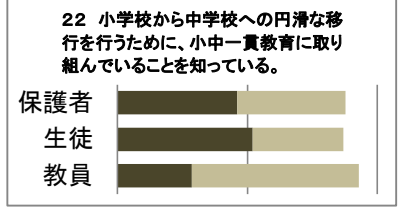
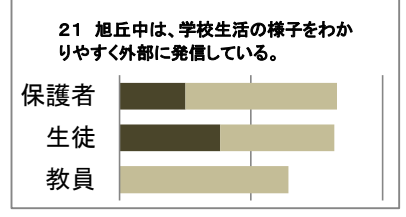
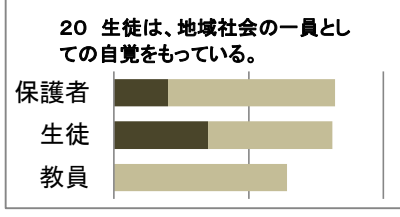
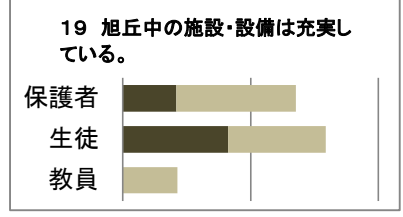
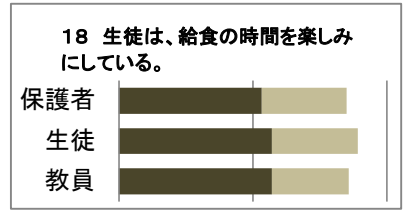
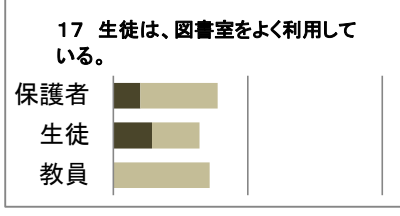
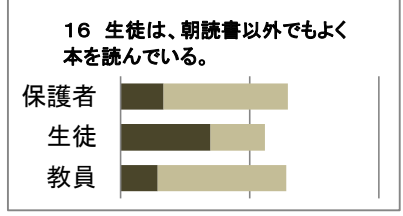
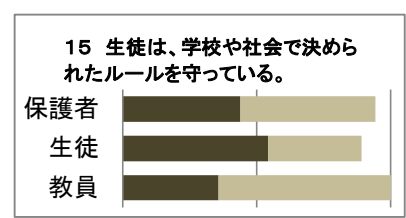
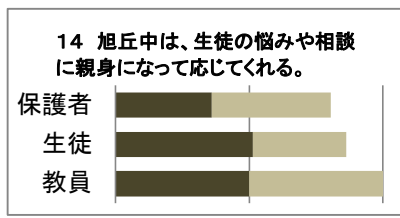
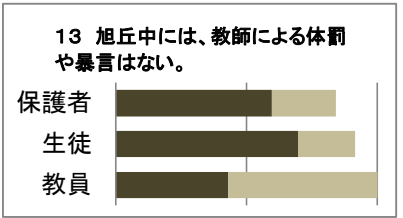
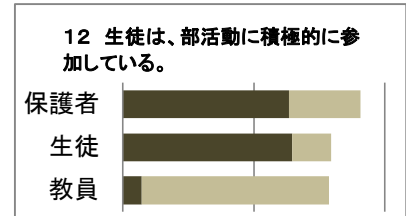
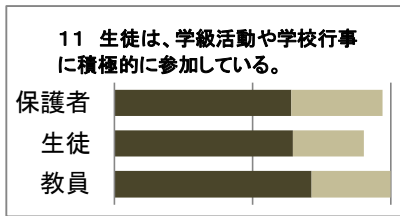
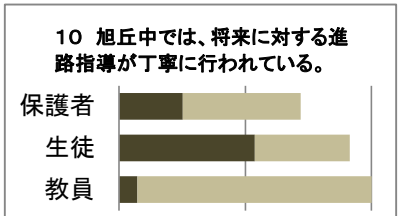
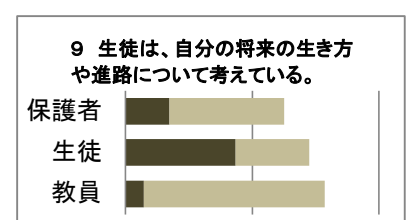
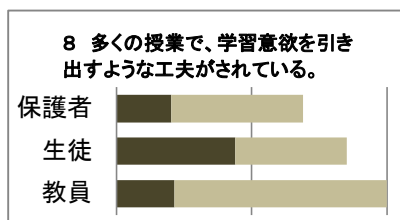
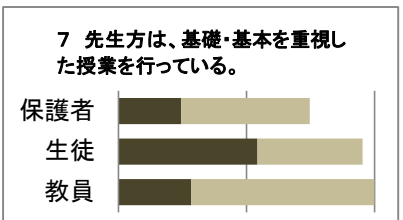
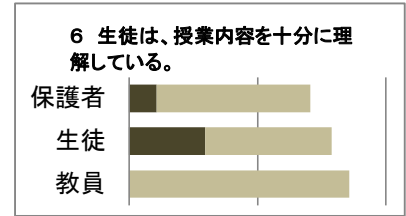
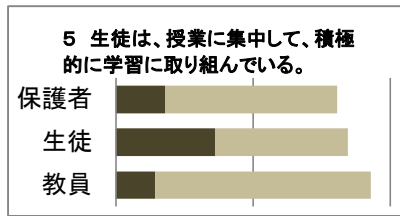
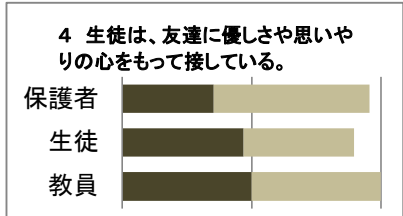
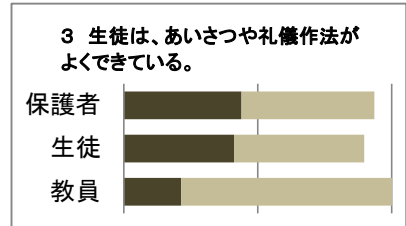
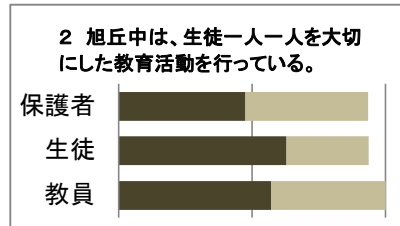
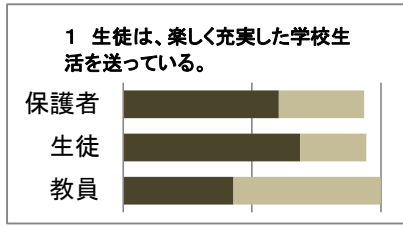
- ・将来の生き方や仕事について具体的に考えられる指導をお願いしたい。

⇒家庭と学校と地域が一体となって教育すべき内容と考えます。三者で協力して、指導していきたいと思えます。

- ・スクールカウンセラーや相談員の先生をどのように活用したら良いか分かりません。

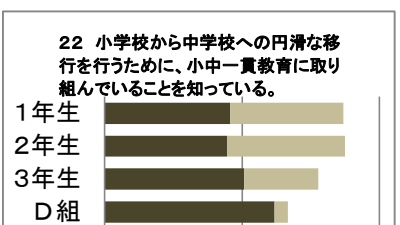
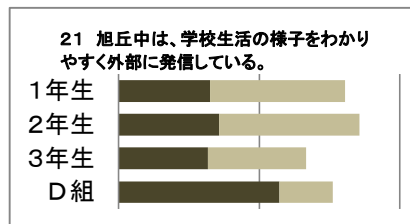
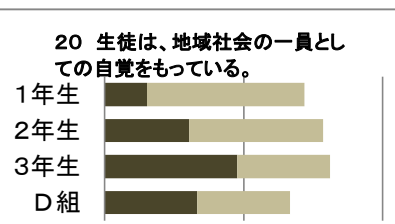
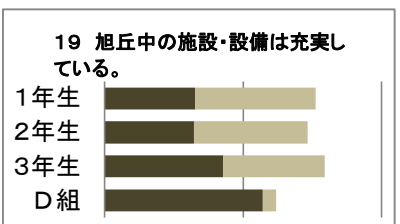
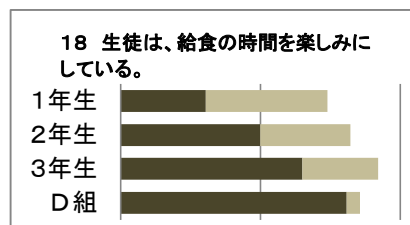
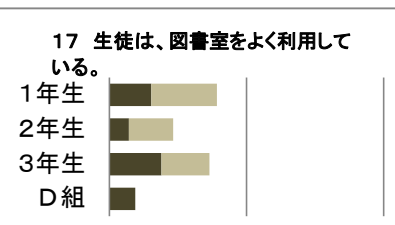
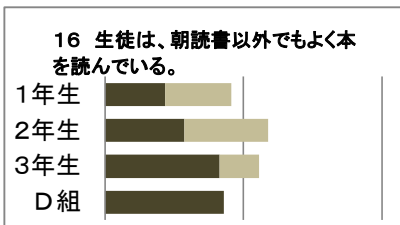
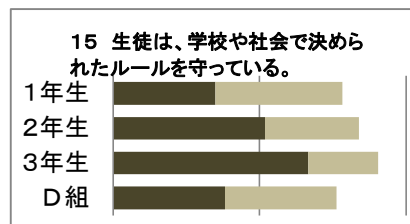
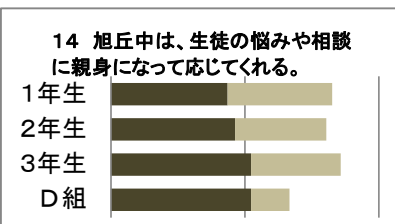
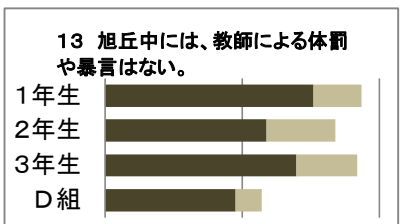
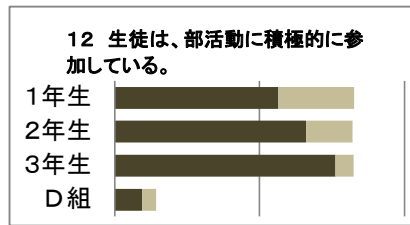
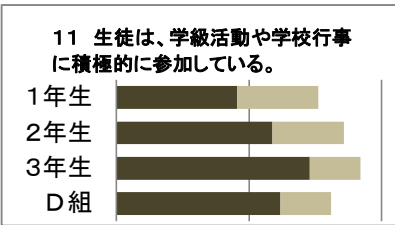
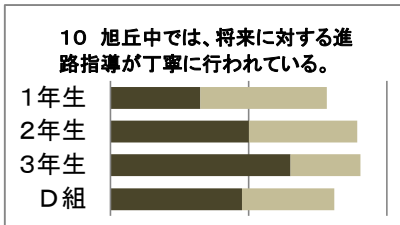
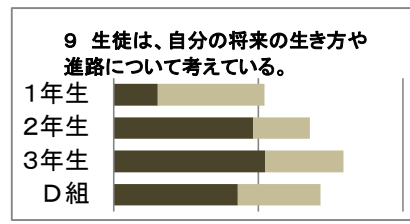
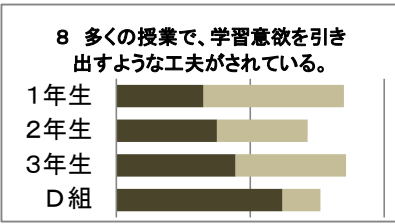
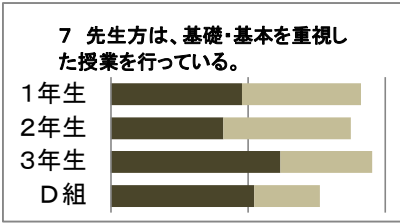
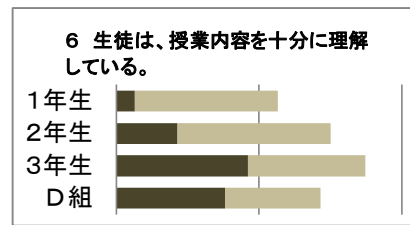
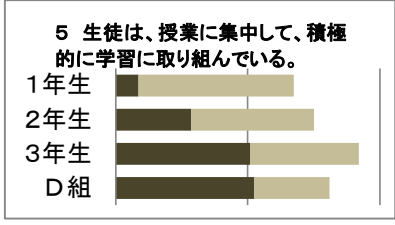
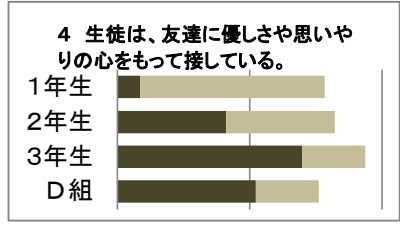
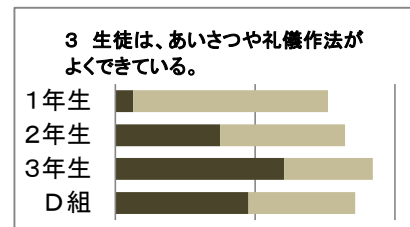
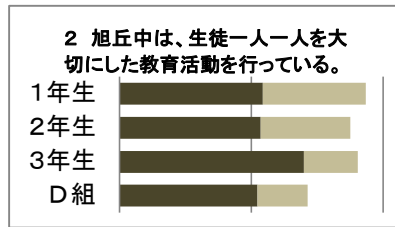
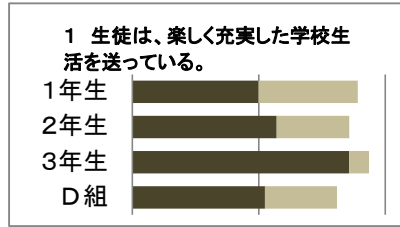
⇒「相談室だより」等で、情報を発信していますが十分とは言えないようです。さらに、発信してきます。カウンセラーは、木曜日が勤務日です。事前に電話等で予約を取って相談するのが基本です。

# 平成26年度 学校評価(保護者・生徒・教員アンケート)



そう思う
どちらかといえばそう思う

# 平成26年度 学校評価(生徒アンケート)



そう思う
どちらかといえばそう思う